大望 麗し 名花丈夫 集い来るめいかますらおっと この道に

寮歌鳴り響く 夕餉時 京風に舞う 箱 柳 京風に舞う 箱 柳

未だ踏み初めし 寮友なり先人継ぎし 一途を

極影 傾 満ち行く若月が 照らすか 憂いの醒めぬ 微睡み知らぬ 夜の静寂 世の岐も 高住居

齢延べたし 青き春ょわいの 嗚呼忘るまじき 我が辿の

無何有の郷を季節巡りて

朔^か風ぜ

温は風な ぎ

を

離る時ぞ

な

鈴木美奈君 小松遼貴君 作曲 作歌